高齢者の生活支援・支えあいに向けた
生活支援コーディネーターステップアップ研修の取組

福岡県　高齢者地域包括ケア推進課

地域共生社会に関する取組

高齢者 / 子ども / 若者 / 地域住民 / 障害者 / 生活困窮者 / 認知症の方 / その他

基礎情報		
	人口（R7.1月時点）	5,086,95人
	高齢化率（R7.1月時点）	28.1%
	要介護認定率（R7.1月時点）	20.1%
	取組の予算規模（年間）	-

取組概要

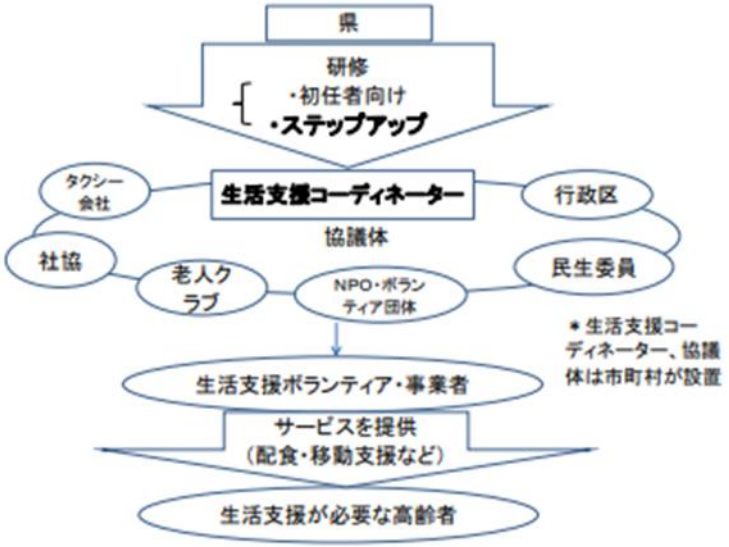
- 福岡県では、多様な生活支援サービスを供給できる体制の整備に向けて、現任の生活支援コーディネーターを対象とした生活支援コーディネーターステップアップ研修を実施しており、協議体の運営やサービス開発等に関する実践的な研修を提供している。

背景・きっかけ

- 今後、日常生活上の支援が必要な高齢者の増加が一層見込まれ、多様な生活支援サービスを供給できる体制整備が不可欠。
- 改正道路交通法により、運転免許の取消し制度が強化され、今後、自主返納者も含め、買い物や移動などの生活支援サービスを必要とする高齢者がさらに増加する見込み。
- 配置された生活支援コーディネーターに対して、協議体の運営やサービス開発に関する実践的な研修が必要。

取組の経緯

- 高齢者が、その心身の状態に応じて、多様な主体による介護予防・生活支援サービスの提供が受けられるよう、生活支援コーディネーターを育成するため、生活支援コーディネーターステップアップ研修を実施している。



研修の仕組み

生活支援コーディネーター ステップアップ研修の取り組み

福岡県　高齢者地域包括ケア推進課

取組詳細

- **取組内容**
  - ✓ 生活支援コーディネーターステップアップ研修として、年に4回程度、現任の生活支援コーディネーターを対象に、協議体の運営方法や新しい課題（例：車が利用できない高齢者に対するサービス）に着目した生活支援サービスについてのグループワーク等の研修を提供。
- **実施体制**
  - ✓ 主体（研修会の開催）：福岡県高齢者地域包括ケア推進課
  - ✓ 連携先（講師及びファシリテーター）：国が実施した「生活支援コーディネーター指導者養成に係る中央研修」の受講者（アドバイザー）
- **財源**
  - ✓ 福岡県地域医療介護総合確保基金

成果

- 定量面：
  - 221人（R6年度の年間参加延べ人数）
  - 参加者へのアンケート調査の結果、年間通じて90%以上が「満足している」と回答した。
- 定性面：
  - 県内の生活支援コーディネーターの孤立化を防止し、生活支援コーディネーター同士のネットワークの構築や、他市町村との取組状況について把握し、コーディネーター同士の連携を図ることができている。

今後の展望

- 今後も協議体の運営やサービス開発に関する実践的な研修を継続して実施したい。

取組のポイント

- **フォローアップの仕組みの整備**

  研修会の実施後、アンケートを集約・分析し、市町村が課題と思っている内容等について次回以降の内容に反映させ、支援内容を改善している。

  また、県担当課が窓口となり、市町村からの相談内容に応じて、中央研修を修了した講師が助言・指導を行うよう調整している。